

Book Review



「下川エンド」20年の臨床 長期症例でみるエンド治療成功への道

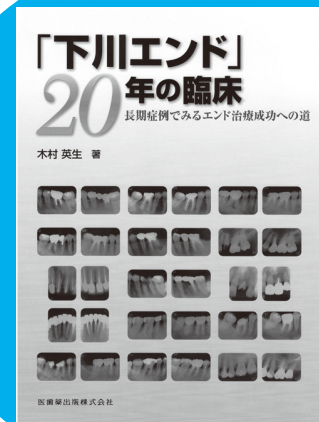
木村英生 著



Reviewer

倉富 覚、 Satoshi Kuratomi
(福岡県・くらとみ歯科クリニック)

A4 判変, 168 頁
オールカラー
定価 (10,000 円+税)
医歯薬出版 刊



18年前、私が下川歯科医院に常勤歯科医師として勤務する際、下川公一先生より「1週間毎日オレと一緒に居たら、すぐにお前が病気になるから、週に2回は優しい木村英生先生の所にバイトに行かせてもらえ」とありがたい配慮をいただき、当時開業7年目で37歳だった木村先生の医院に週に2回お邪魔をさせていただいた。そこで目にしたのは、忠実に下川先生の臨床を模倣しておられる木村先生のお姿だった。使用している器具、器材はもちろんのこと、治療の進め方も下川先生と全く同じであったため、両医院を行き来する私にとって非常にやりやすかったことを覚えている。その頃、下川先生ご本人には恐ろしくて聞けない歯内療法に関する質問を木村先生にすると、独特のユーモアを交えてわかりやすく教えてくださったものだった。

その木村先生が「下川エンド」の書籍を出版され、昔、私が教えていただいたことがさらに詳しく書かれていた。「ここまで秘伝の下川エンドを

公にしてよいのか？」と正直、木村先生の身を案じてしまうほどだったが、それは私の取りこし苦勞であった。本書冒頭に下川先生が推薦の辞を書かれていることでもわかるように、ご本家公認本である。しかも下川先生ご本人ですら忘れておられるのではないかとと思われる約30年にわたる下川語録も満載で、ずっと下川先生のお側で、忠実に「下川エンド」を実践されてこられた木村先生にしか書くことのできない、いわば「下川エンド」の奥義書とも言ってもよいのではないだろうか。

本書には単なる下川先生の模倣ではなく、木村先生なりの考察やテクニックが随所に散りばめられており、「木村エンド」を確立されていることが良くわかる。また、歯内療法だけでなく、一般臨床家にしかできない歯周病や補綴治療への配慮や工夫などの内容も充実しており、木村先生の真摯な臨床姿勢と歯を保存することへの情熱が全編から感じとれる。そして特筆すべきは、これほど長期経過症例が豊富に提

示されている本は昨今の歯内療法に関する書籍で類をみないことである。この豊富な長期経過症例の結果こそが、臨床家にとっての揺るぎないEvidenceであり、読者に対して凄まじい説得力をもって語りかけている。そして、これだけ多くの患者さんから長期にわたる厚い信頼を得られている背景には、単に技術的な満足を与えているだけでなく、木村先生の人間性はもちろんのこと、受付の対応やコデンタルスタッフも含めた木村歯科医院の総合力の高さが深く関わっていると容易に想像できる。是非、そのようなことも本書より感じ取っていただきたい。

以前、下川先生と故・山内 厚先生の師弟関係に憧れを抱いたと木村先生がおっしゃっていたが、われわれ北九州歯学研究会の若手からすると、この書籍を発刊するに至るお二人の師弟関係に憧れを抱く。下川先生と木村先生のお二人にお世話になった私としては、非常に嬉しく、誇らしく、自信をもってお勧めできる一冊である。